

令和6年度

泉州南消防組合人事給与システム再構築業務

公募型プロポーザル選定基準

(審査基準及び評価項目等)

泉州南広域消防本部

## 1 審査方法

本事業を実施する事業者の決定は、当プロポーザル参加者から提出された提案書及び見積書についての内容等を評価し、点数化した総合評点により決定する。

プロポーザル方式により最優秀提案者を決定するため、参加者から提出された提案書及び見積書を可能な限り客観的に評価する選定基準として示すものである。

### (1) 公募型プロポーザル方式

プロポーザル方式により次のとおり最優秀提案者を選定し、優先交渉権者を決定した後、当該プロポーザル結果をもってリース事業者を対象に別途競争入札を行い、最低落札者と賃貸借契約を行う。

#### ア 提案書等の確認

提出された提案書等が指定されている内容等に合致し作成されているか確認する。この結果、提案書等に不足又は不備がある場合は失格とする。

#### イ 提案審査

応募書類の評価及び審査は、「泉州南消防組合人事給与システム再構築業務プロポーザル審査会」（以下「審査会」という。）が行う。

審査会は、次の方法により提案書等の内容の評価を行い、最優秀提案者を選定する。

#### (ア) 第1次審査項目における提案内容の得点化

提案書の第1次審査項目について評価し、得点化（満点70点）を行う。

#### (イ) 第1次審査項目における提案価格の得点化

見積書に記載された価格について、算定式を用いて得点化（満点30点）を行う。

#### (ウ) 第1次審査における評価点の算出

提案書の第1次審査項目により算出された評価点（評価項目ごとの点数）及び提案価格による価格評価点を合計し、第1次審査における総評価点（満点100点）を算出し、基準点（60点）以上の者を選出する。

#### (エ) プレゼンテーションの実施

第1次審査における総評価点順に、最大5者を選定しプレゼンテーション、ヒアリングを実施する。

#### (オ) 第2次審査項目における提案内容の得点化

提案書の第2次審査項目の提案内容及びプレゼンテーション、ヒアリング等の結果から総合的に評価し、得点化（満点70点）を行う。

#### (カ) 第2次審査項目における提案価格の得点化

見積書に記載された価格について、算定式を用いて得点化（満点30点）を行う。

#### (キ) 最優秀提案者の選定

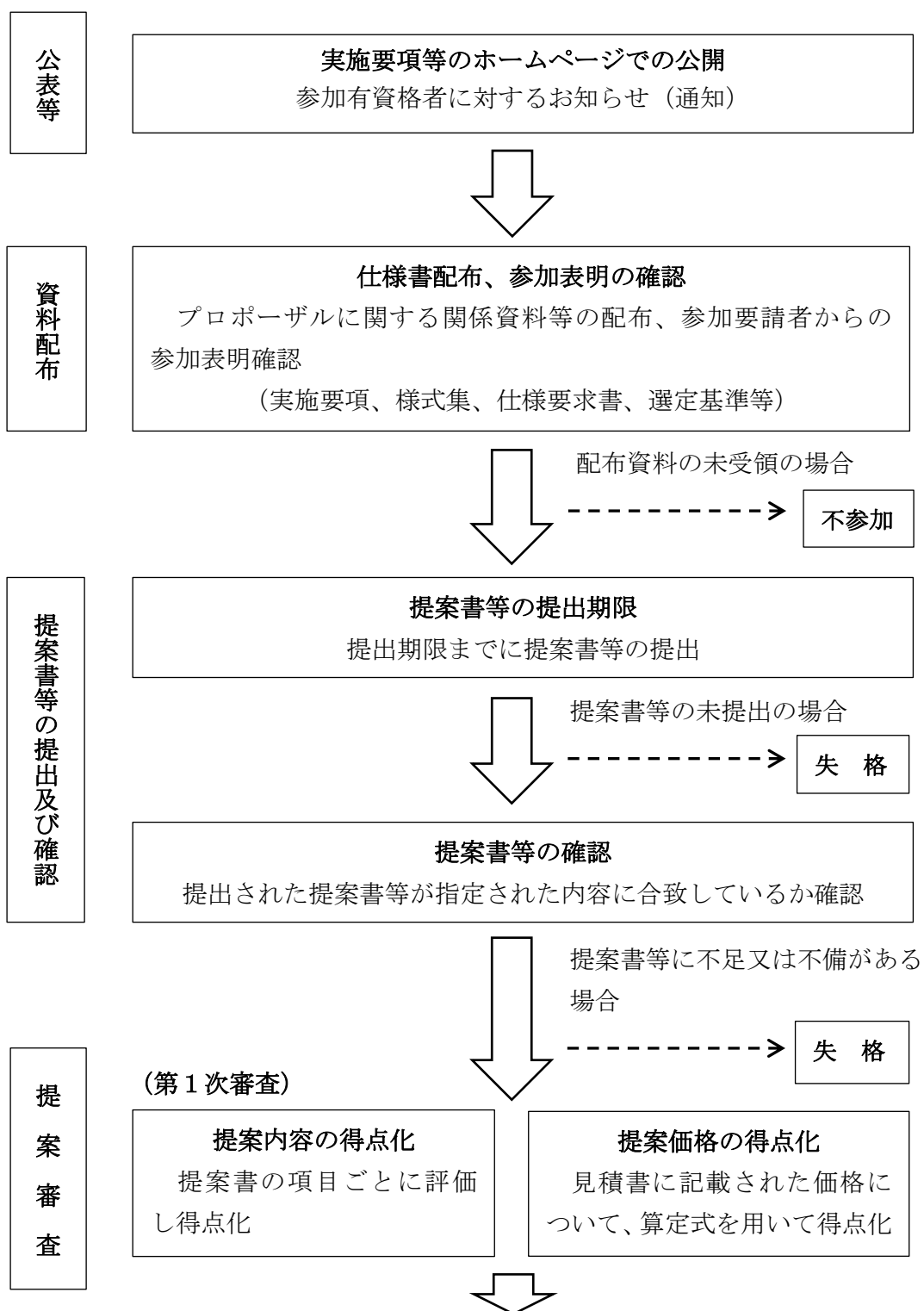
提案書の第2次審査項目により算出された評価点（評価項目ごとの点数）及び提案価格による価格評価点を合計し、総評価点（満点100点）の最も高い提案者を最優秀提案者として選定する。

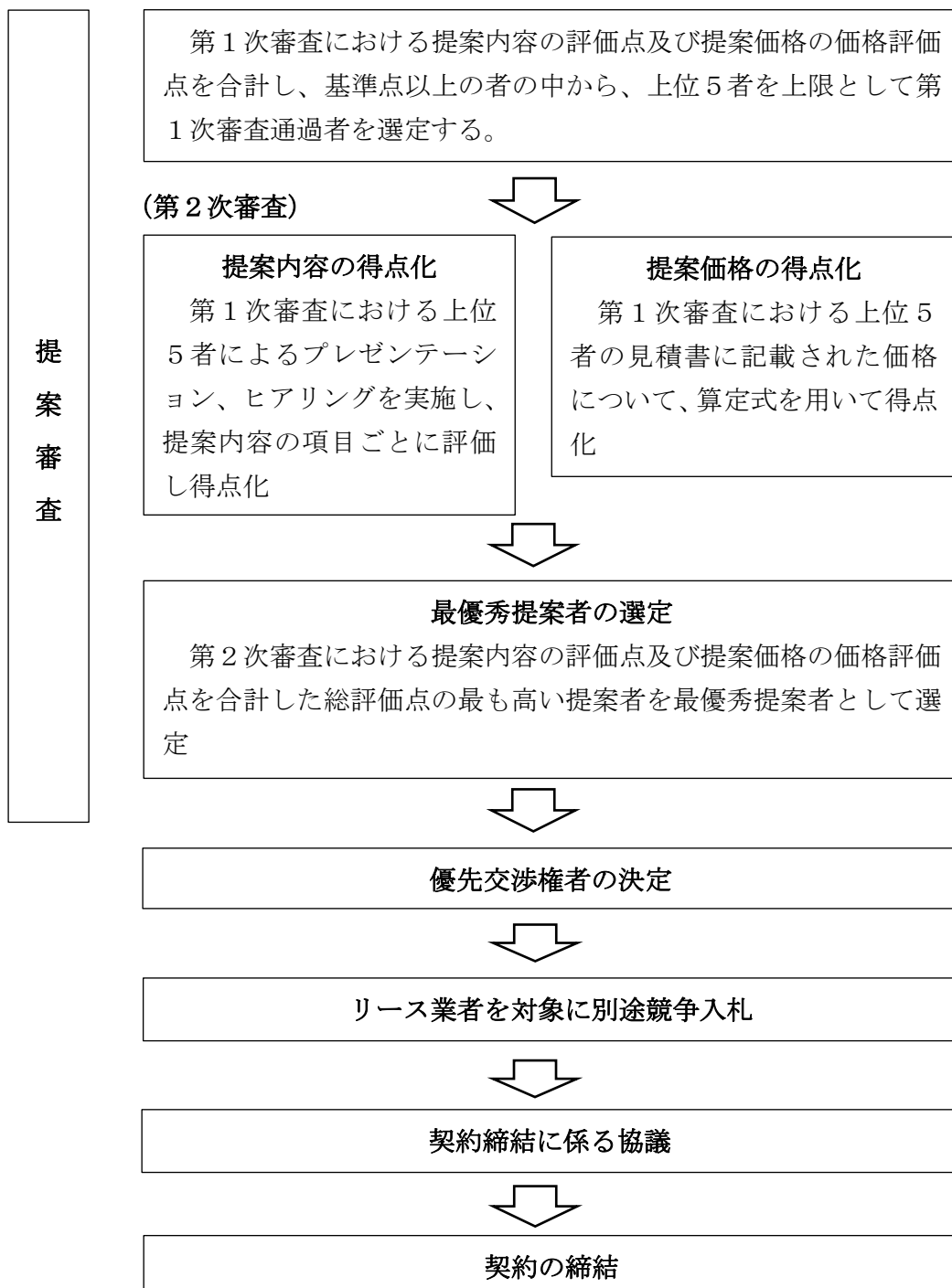
ウ 優先交渉権者の決定

審査会の最優秀提案者の選定を踏まえ、優先交渉権者を決定する。

(2) 選定の流れ

契約締結に至るまでの流れは、下図のとおりとする。





## 2 提案書等の確認

### (1) 確認の方法

提案書等の内容が、評価項目の内容を満たしていることを確認する。  
この結果、評価項目を満たさないことが確認された場合は失格とする。

### (2) 確認の項目

#### ア 提案書の確認

- (ア) 提出された提案書が指定されたとおり全て揃っていること。
- (イ) 提出された提案書が指定された様式を使用していること。
- (ウ) 提案書の綴り方について、評価基準の順序に沿ったものとなっていること。
- (エ) 同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

イ 見積書の確認

- (ア) 記載された価格が、指定の上限額を下回っていること。
- (イ) 指定された記載方法や指示事項に合致していること。

### 3 提案審査

(1) 審査の基本方針

本事業の目的を実現する上で必要な事項を評価項目とし、提案内容の定量化を図ることにより、客観的な視点から最も優秀な提案を選定する。

(2) 審査の方法

ア 第1次審査

参加者から提出された提案内容及び見積書に記載された価格について、評価項目ごとに得点化を行い、それらを合計した総評価点により、基準点（60点）以上の者の中から、上位5者を上限とし選定する。

イ 第2次審査

第1次審査で選定された者を対象にプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、提案内容及び見積書に記載された価格について、評価項目ごとに得点化を行い、それらを合計した総評価点の最も高い提案者を最優秀提案者として選定する。

(3) 評価項目及び評価点

ア 第1次審査

評価項目及び評価点については、下記のとおりとし、満点は100点とする。

評価項目	評価点	評価内容
提案価格	30	見積書金額を評価
業務方針	5	提案事項を評価
実施体制	10	整備完了までの計画を評価
施工管理	5	安全性を評価
システムの性能	15	性能を評価
システムの操作性	15	操作性を評価
保守体制	10	トラブル発生時等の対応を評価
独自提案	10	効果的な独自提案等があるかを評価
総評価点	100	

イ 第2次審査

評価項目及び評価点については、下記のとおりとし、満点は100点とする。

評価項目	評価点	評価内容
提案価格	30	見積書金額を評価
システムの性能	25	性能を再評価
システムの操作性	25	操作性を再評価
保守体制	10	トラブル発生時等の対応を再評価
独自提案	10	効果的な独自提案等があるかを再評価
総評価点	100	

(4) 評価項目の得点化

ア 提案書に関する得点化方法

当該事業における各評価項目間の相対的な重要度を反映させるため、各評価項目に重みを設定するものとする。

得点化については、評価項目の審査により算出した値（5段階）に、重みの係数を乗じたものを評価点とする。

第1次審査における評価項目の得点化方法

評価項目及び評価内容			評価点					重み
			5点	4点	3点	2点	0点	
1	業務方針	募集要領・仕様書に基づき、趣旨、目的を理解した提案内容となっているか。	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	×1
2	実施体制	事業実施に必要な実施体制を整え、業務遂行能力の高い事業者であるか。 スケジュールは妥当かつ現実的なものか。	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	×2
3	施工管理	事業実施に必要な知識、経験等を有し、安全管理及び指揮監督能力の高い事業者であるか。	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	×1
4	システムの性能	提案システムが機能仕様要求を満たしているか。	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	×3
5	システムの操作性	複雑な操作が不要なものとなっているか。	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	×3
6	保守体制	障害等発生時の対応に問題はないか。	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	×2
7	独自提案	本事業について、効果的な独自提案等があるか。	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	×2
評価点合計			70点満点					

## 第2次審査における評価項目の得点化方法

評価項目及び評価内容			評価点					重み
			5点	4点	3点	2点	0点	
1	システムの性能	提案システムが機能仕様要求を満たしているか。	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	×5
2	システムの操作性	複雑な操作が不要なものとなっているか。	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	×5
3	保守体制	障害等発生時の対応に問題はないか。	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	×2
4	独自提案	本事業について、効果的な独自提案等があるか。	非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る	×2
評価点合計			70点満点					

### イ 提案価格に関する得点化方法

得点化については、第1次及び第2次審査における最低提案価格を評価基準額(満点30点)とし、評価基準額を超える価格を提案した者の価格評価点は、評価基準額を当該提案者の提案価格で除して得た率を満点(30点)に乗じて算出する。

なお、提案価格には上限額を設けており、上限額を超える提案価格の見積書は無効とする。

#### 第1次審査における提案価格の得点化方法

- (ア) 最低提案価格を評価基準額(満点30点)とする。
- (イ) 評価基準額を超える場合は下記の算定式により価格評価点を算出する。  
なお、小数点1位以下は切り捨てとする。

〔算定式〕	$\text{価格評価点} = \text{満点}(30\text{点}) \times (\text{評価基準額} \div \text{提案価格})$
-------	---

#### 第2次審査における提案価格の得点化方法

- (ア) 第1次審査で選定された者の最低提案価格を評価基準額(満点30点)とする。
- (イ) 評価基準額を超える場合は下記の算定式により価格評価点を算出する。  
なお、小数点1位以下は切り捨てとする。

〔算定式〕	$\text{価格評価点} = \text{満点}(30\text{点}) \times (\text{評価基準額} \div \text{提案価格})$
-------	---

### (5) 最優秀提案者の選定

第2次審査における提案内容の総評価点を総合評点(満点100点)とし、総合評点の最も高い提案者を、最優秀提案者として選定する。